

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】

作成: 2025年 6月 20日

施策番号	施策名	地域文化の振興	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり		
2-2-1			政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実		
	主管課	生涯学習課	課長名	江崎 健一	内線	451
	施策関係課	環境土木課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果		
地域における文化活動への参加を促進するとおもに、文化財などの収集・活用をすすめます。			町民	・文化・芸術を身近に感じさせる地域づくり			心豊かに暮らせるまち	
成果指標	説明	単位	策定期(基準)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
①文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	73.0 (R3)	70.1	73.0	/	/	78.0
②地域文化活動への参加者数	生涯学習課調べ	人	1,172 (R3)	1,439	1,562	/	/	1,400
③								
④								
①前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 ②現状の加速する減少率を改善し下げ止まりの傾向を示すもの。								
成果指標設定の考え方								

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	17,282	20,115	19,470	/	/

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察							
①2024年度の成果評価(前年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかつた <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	文化・芸術活動がコロナ禍を経て全面的に再開されたことにより、活動が活発化されたものと想定される。各種文化・芸術事業の参加人数が増えたことも要因の1つと考える。				
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	活動が全面的に再開されたことにより、参加人数が増え、当初の目標をクリアすることになったが、意識調査の指標は目標には届いていないところである。指標向上に向け、様々な活動がより認識されるようSNS等も活用しながら、目標達成に向けていきたい。芸術鑑賞の町民参加による実行委員会の継続、町民文化展の出展者増に向けた取組は継続的に実施する。文化協会をはじめとする関係団体と連携し、多様な文化・芸術活動に寄与していく。				
(2)施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括							
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芸術鑑賞会等開催事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業					
②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	芸術・文化振興支援事業						
③事務事業全体の振り返り(総括)	文化賞等授賞式開催事業						
・町民との連携による文化芸術活動の充実 芸術鑑賞会等開催事業は、町民有志による実行委員会組織で企画・運営されているところであり、町民参加という意味では有効である。多くの集客を得ることにより、満足度と費用対効果をあげることを目指す。 ・町民文化展の出展はコロナ後年々上昇している点は評価できる。 ・児童生徒の文化芸術振興 全国全道大会出場支援は、文化活動支援として浸透していることから引き続き実施していく。 ・文化協会については役員の高齢化、加盟団体の減少等もあり会員数が減っている状況。							
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)							
担当課評価	新型コロナの5類移行以降、文化・芸術活動が活発化されてきた。全道全国大会への支援等、子ども達の文化活動等の支援を継続し更なる振興を目指す			A B C D E			
				進捗結果			

A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持したC:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会等開催事業は、町民有志による実行委員会組織で企画・運営されているところであり、町民参加という意味では有効である。多くの集客を得ることにより、満足度と費用対効果をあげることを目指す。 ・町民文化展は年に1度作品を見てもらう機会であり、やりがい・いきがいにつながるものであることから多くの方に参加していただけるよう引き続き取り組んでいく。 ・文化協会については、役員の高齢化・なり手不足・加盟団体の減少に伴い、会員数も減っている状況にある。文化振興の担い手として支援してきたところであり協会の今後について、どのような支援が良いか確認していく必要がある。 ・文化芸術活動への支援として、鑑賞会等の充実を図るとともに、大会出場助成を継続し、子ども達の文化活動の支援を継続する。 ・文化財については、かしわの保全活動と新たな文化財の確認を着実に実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動に関する公民館施設の利用料金減(シニア割引)希望。 →町全体の利用料負担の考え方から据え置くもの ・町民文化展の内容について、実行委員会等の意見を参考にしながら実施する。 →新たにフラメンコ等の実施し好評であった ・ふるさと歴史館の活用(各種講座、特別展示等の実施)。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会の継続開催。町民参加の実行委員会組織からの提案事業を実施。 →様々な分野の鑑賞により町民の文化的思考の高揚につなげたい。 ・町民ニーズの把握と集客面の双方も意識しながら検討していく。 →「一流を見て、聴いて、学ぶ」事業を意識した講演内容につなげる。 ・文化協会の支援 →組織体制の高齢化、役員のなり手不足、加盟団体の減少に伴う会員減。 ・指定管理者と連携した公民館講座の充実。 ・文化活動に必要な設備備品の計画的な整備。 ・ふるさと歴史館の各種講座、特別展示の実施等の事業充実。
--

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	府内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・他自治体も含めた、文化・スポーツ・芸術等の分野の方の活躍できる場の提供や、紹介を行ってほしい。 ・文化協会への補助のあり方の検討。 ・文化は多様化している。行政はどうすれば町民が楽しめるかを考え、事業してみてはどうか。 ・裸みこしなど、郷土の歴史の保全に注力してほしい。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					